

## 1 - 2 十勝支庁北部の地震活動（1985年1月～1996年10月） Seismic activity in the northern part of the Tokachi region ( January, 1985-October, 1996 )

札幌管区气象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

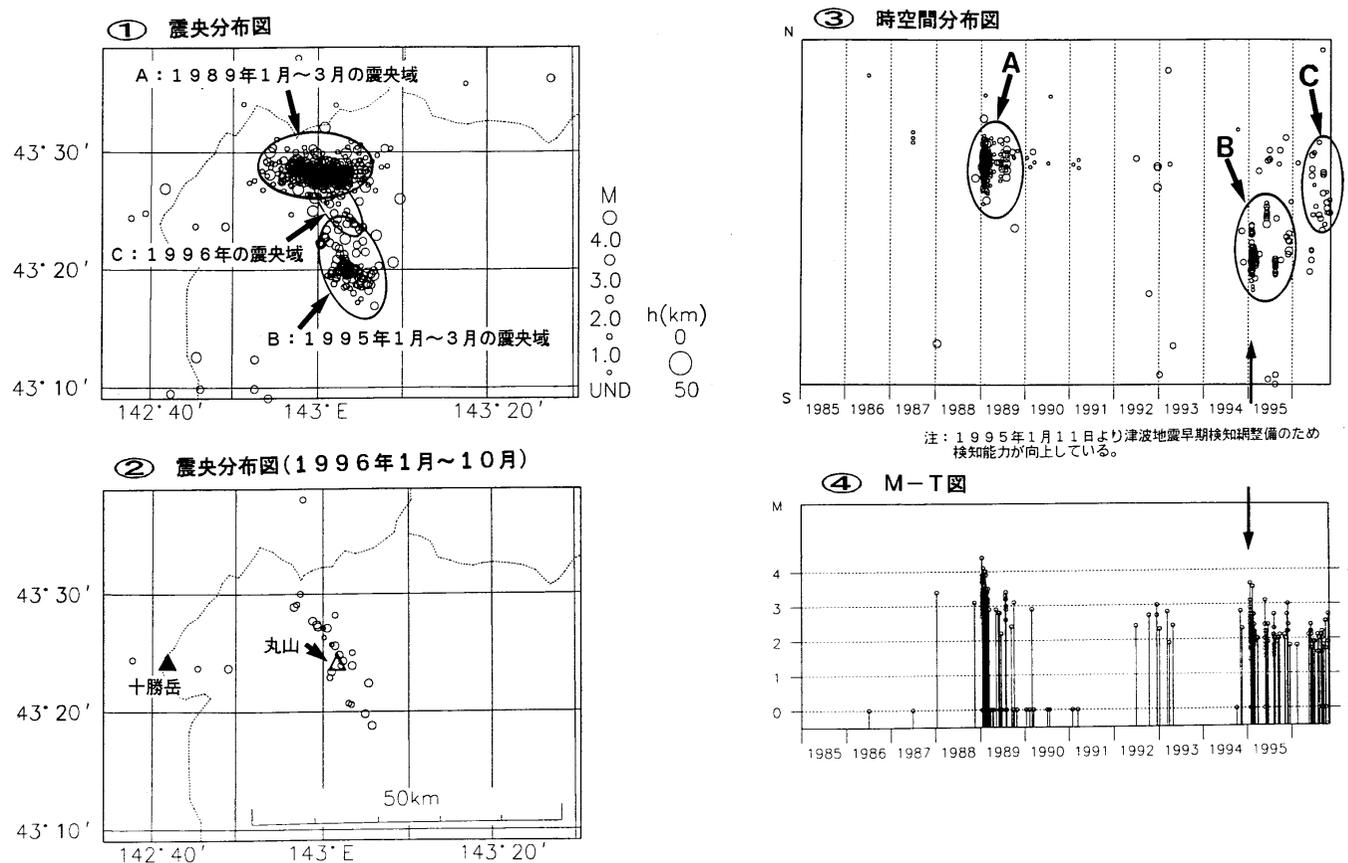
十勝支庁北部を震源とする浅発地震は、1995年12月5日以来ほとんど観測されていなかったが、1996年5月19日から間歇的に発生し始めた。震源は丸山付近を中心に一部北西方向へ伸びている（第1図の ）。発生状況は日発生回数が多いときでも5回程度で、短期間に集中して発生する傾向はない。地震の規模はM1～2クラスとごく小さく、有感には至っていない（第1図の ）。この付近では1989年1月から3月にかけて、丸山の北側で最大規模M4.4を含む局地有感地震が41回発生するなどの活発な群発地震活動があった。また、1995年1月から3月にかけても丸山の南東側で、最大規模M3.6を含む有感地震が7回発生した地震活動が起きている。これらはいずれも一連の活動の始まりに最大地震が発生している（第1図の ， ， ）。

なお、十勝支庁北部の地震活動は、1988年1月に発生した雌阿寒岳の小噴火、1988年12月から1989年3月まで続いた十勝岳の噴火と時期が重なっているため、これらの火山活動との関連性について広域応力場の観点から言及されている。

### 参 考 文 献

- 1 ) 札幌管区气象台：十勝支庁北部の群発地震，連絡会報，42（1989），8 - 12.
- 2 ) 札幌管区气象台：十勝支庁北部の地震活動（1995年1月～4月），連絡会報，54（1995），10 - 11.

十勝支庁北部の地震活動 (1985年1月~1996年10月  $h \leq 50$  km)



第1図 十勝支庁北部の地震活動 (1985年1月~1996年10月  $h \leq 50$  km): 震央分布図 時空間分布図 震央分布図 (1996年1月~10月) M-T図

Fig.1 Seismic activity in the northern part of the Tokachi region (January, 1985 - October, 1996,  $h \leq 50$  km): epicentral distribution, space-time distribution, epicentral distribution (January - October, 1996), magnitude-time diagram.